

## 富山県医師会勤務医部会

2021年11月24日(水) 午後7時30分～  
富山県医師会・4階大会議室+ZOOM参加

### 報告事項

1) 令和3年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の報告【資料1】

・(資料の説明)

2) 令和3年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の報告【資料2】

・(資料の説明)

3) 富山県医療勤務環境改善支援センターについて【資料3】

- ・現在、県庁内にセンターがあるが、来年4月から県医師会にセンターを持ってくる計画。
- ・県医師会にセンターを持ってくることで、相談しやすいのではないかと考える。病院だけでなく、個人の医師からの相談や、他の職種の方の相談も受け付ける予定。

藪下委員：2024年までには各病院にサイベイヤーが回ってくるのか。

泉副会長：まずは書類審査で、難しい場合にサイベイヤーが来るそうだ。

馬瀬会長：サイベイヤーは客観性を担保する意味で富山県のサイベイヤーは他県に派遣されるそうだ。

真鍋委員：宿日直の許可についての“まれ”とは？どういう形で許可されるのか。

泉副会長：病院単位でも科単位でも申請可能で勤改センターの役割と考えている。

鳥嶋理事：富大や金大でもオンコール体制にしてきているが。

南里常任理事：オンコールはグレーゾーンだが、やはり専門の社労士さんに聞く体制を勤改センターで作りたい。とても複雑な問題で今後検討していきたい。

林理事：大学は当直と宿直を導入し、オンコールも増やして、勤務時間を減らす方向にしてきている。宿直やオンコールは安い賃金のため増やす方向になり、ますますブラックな感じになっている。

種部常任理事：オンコールについては無視できない問題。医師会として意見を集約して問題を取り上げたらいいのではないか。

## 協議事項（ディスカッション）

- 1) 若手医師からの意見集約の方法について / 2) 日本医師会に望む事について
- 宮崎委員：コロナ前は勉強会を開けたが、今は開催できず若手医師との距離が広がった印象。また勉強会を企画して、顔の見える関係作りが作れたらいい。
- 清水委員：Web で様々な会に逆に参加しやすくなった。対面も必要だが、Web もとてもいいと感じている。  
日医には勤務医が会員の半数以上を占めているのだから、勤務医を盛り立てる活動をもっとしてもらいたい。
- 成瀬委員：医師会のメンバーから若手医師に呼びかける会があったらいい。Web にはまだ慣れていないため、やはり顔の見える会がいい。
- 藪下委員：勤務時の入会率が伸びないが、入会のメリットがないと若手医師は言う。学会とは違う医師会のメリットについて、うまく若手医師に伝わればいい。
- 鳥嶋理事：若手医師はやはり給料に関して敏感。マイナビデータによると、富山県の給料が全国で最下位になっている。誤った情報が流れている。県医師会からは是非訂正できないか。
- 土岐委員：若手医師のメリットとして、研修医が会費0円だが会費が発生する2年後には退会してしまう。  
若手医師は労働時間や女性医師のキャリアパス、専門医などに関してとてもよく考えている。そういう若手医師の駆け込み寺・サポートセンター的な立場に医師会がなれないか。そうすれば、医師会の魅力に繋がるのではないか。
- 丸山委員：若手医師はインターネットをよく使うが、ホームページの充実と書き込みができるようにしたり、ネットやメールでのアンケートなどを利用して若手医師の意見を集約するのはどうか。
- 真鍋委員：女性医師支援の相談に病院に来ていただいたが、とても良かった。病院の先生方は県医師会の先生方と実際に接する機会がないので、Web でもいいので病院全体の勤務医の先生方と県医師会の先生方と話す機会があったらいい。
- 河合委員：若い先生方は郡市医師会の先生方とは研修会等で意見交流はあるが、県医師会の事はわからないと思う。メリットを知ってもらえる機会があるといい。
- 林理事：若手医師や研修医が入っている会はあるのか。
- 南里常任理事：今はコロナの影響で2年ほど開催していないが、若手医師部会があり年2回ほど開催していた。また、研修医大会というのもありコロナ前は開催していた。
- 林理事：やはり同僚と一緒に参加できる会は参加しやすいと思う。
- 種部常任理事：若い先生方は入会書類がめんどくさいだろう。もっと手続きが簡単になるようになればいい。メールやWeb で手続きができるといいのではないか。

南里常任理事：これに関しては日医も少し検討はしている。若手医師と女性医師の意見を出来るだけ取り込んでいきたいと思う。

泉副会長：Web で講演会を開催して受講者は Web やメールで登録してアドレスを登録してもらい誰でも参加できるようになればいい。またアドレスをツールとしてうまく活用して相談も Web でできる様にしたらいいと考えている。

馬瀬会長：若手医師がモチベーションを保ちながら働くためにも、現在計画中の新会館に勤改センターの部屋も用意している。Web での発信も県医師会から出していきたい。県医師会が若手医師の相談所、と考えてもらえたらいい。

#### その他

・富山県医学会について【資料4】

・12月5日(日)に開催する県医学会について、参加を呼び掛けた。